

令和元年度のまとめ ささスマ開催される！

アドバイザーに地域コディネートまる翁川氏を招く

ささスマ新聞



今年度第5回目（2月6日）に開催となりました「ささスマ（協議体）」。
1年間の各地域での取り組みや昨年末に開催された臨時的買い物支援「歳末販売会」についての意見交換を行いました。
「ささスマ」立ち上げ前よりご支援いただいている翁川氏をお迎えし、アドバイスをいただき、今後の活動について話し合いました。



発行：
ささえるスマイル豊頃
豊頃町役場福祉課
(TEL 574-2214)
豊頃町社会福祉協議会
(TEL 574-3143)



今回の「ささスマ」では、毎回参加されている地域の方々をはじめ、民生児童委員や各福祉関係者、行政・商工会も参加し、大変大勢の方々に参加していただきました。
そして、以前から出ている地域課題について、様々な情報を交換しました。
主なお話のテーマは以下の内容です。



臨時的買い物支援
「歳末販売会」が
12月23日に実施されました

町内唯一の生鮮食品を扱う店舗が閉店し、特に、車を持たない高齢者の方々は、買い物に大変不便を感じています。

この問題は、生活に直結する大きな課題として、「地域座談会」や「ささスマ」でも毎回テーマに上がっています。そんな中、行政が主導となり、年末の一日限りではありますが、コプさっぽろ様の協力を得て、移動販売車の常設と施設内で特産品の販売を行いました。

また、買い物には「プレミアム商品券」が使用できるよう工夫した取り組みを行いました。

社会福祉協議会でも「ささスマ」の参加者であり、地域サロン事業を実施しているボランティアさんをお願いし、出張ほっとサロンを実施して、買い物の待ち時間を利用した住民交流の場を設置しました。



サンタ姿でお出迎え！

クリスマスも近いこの日は、サンタ姿のコスプレで会場を盛り上げました。

大津地区の方も患者輸送車を乗り継ぎ販売会に参加、夏に実施したバスツアーが役立ったようです。



歳末販売会について

意見や感想

初めて実施されたこの販売会について、買い物支援をイベント的に実施し、非常に良いアイデアだったとの好意的な意見が多数ありました。

主な感想意見

- * 午前中にお客さんが殺到し、混雑していた。
- * 会計の関係でカケルとコープ商品のレジの仕方に戸惑った。
- * カケル利用の順番待ち番号札の進行がもっとスムーズに行くと分かりやすかった。
- * 順番待ちすると、品数の心配があった。
- * 「この様な機会がまたあったらいいな」との声を聞く。
- * 大津地区からはバスが満員に近い位の参加があった。
- * 歳末商品を販売するならば、もう少し時期を遅くすると良いと思う。
- * 商品券が使えて良かった。その他多数



そもそも高齢者の方は普段どうやって買い物しているの？

どんな買い物支援が必要なのか考えてみよう

高齢者の買い物事情

- 移動販売車「カケル」を使っている
- 宅配システム「トドック」を使用している
- 自分で運転して町外へ行く
- 家族が買ってきてくれる
- 友人や家族と一緒に買い物
- その他



社会福祉協議会が聞き取りした事や、福祉関係者の普段の関わりからこの様な意見が出ました。

「ささスマ」で毎回出るのは、そもそも、みんなどうやって買い物しているんだろう？

もちろんお店が再開される事が一番ですが、それは関係各所にお任せし、お店が再開された後も、継続して自分たちにも出来るチョットした支援って何でしょう・・・。

もう一歩踏み込み、町内では、どんな買い物支援を必要としているのか話し合いを行いました。

今回実施された歳末販売会は、あくまでも緊急臨時的に実施され、イベント的な取り組みとして、様々な意見や感想がありました。



圧倒的に多いのは、コープさつぽろの買い物サービス「カケル」「トドック」の利用でした。

その中でも「カケル」は品数も限られているし、運行経路じゃないと利用しにくい。「トドック」はカタログがたくさんあり、注文票がマークシートなので欄を間違えて個数や違う商品が届く。」等の意見が出ていました。

男性参加者は、トドックって何だ？から始まり「実際に見たことない！」「興味津々。「これは間違える」「凄いたくさん品数あるんだなあ」との感想が聞かれました。

町民の方々からも「お店がない今の生活の中では、凄く便利でありがたい。」と好意的な意見が多数でした。

また、「自分がいつまで車が乗れてるか分からないし、あまり家族の負担にもなりたくない。」との意見も出ています。

どの様な支援体制が可能なのか、関係機関で協議を進め、引き続き「ささスマ」でも意見をお伺いする予定です。

そんな中、住民同士でも出来る事として、昨年豊頃地区や茂岩サロンを中心に実施しているサロン市を今年も引き続き実施し、公的支援と住民同士の助け合いで、買い物困難の課題に取り組んでいきます。



住民の力で買い物支援！

今年もサロン市を実施したいとの声が上がっています。ボランティア活動ですが、これからの野菜の植え付け等、無理のない範囲で、ご自身の生きがいも含めた、ご協力をお願いいたします。

地域のちょっとした困り事から楽しい企画を考えて...

あなたの地域でも座談会実施しませんか？

昨年より全地域を8地区に分けて座談会を実施していましたが、現在大津・豊頃地区をモデル地域として、定期的に座談会に取り組んでいます。

他の地域には、様々な事情もあると思いますので、今後は地域からの呼びかけにより開催することと致しました。

高齢者に限らず、日常のちょっとした困り事を地域レベルで取り組める方法等一緒にお話しできればと思いますので、お気軽にお声がけ下さい。

また、地域に限らず様々な団体等からの要望もお受けいたしますので、よろしく願いいたします。



ささスマ(協議体)参加できます！

他地域の取り組みや、町全体の支え合いのお話し等、住民さん、町の担当者、福祉関係者がお茶を飲みながら2ヶ月に一度、定期的に実施しています。

誰でも参加できますのでお気軽にご参加下さい！！

次回開催は
4月下旬～5月上旬
13:30 ひだまり交流館

北海学園大学開発特別講座 11月7日に開催されました

北海学園大学法学部 横山純一氏をお招きし、「地域包括ケアとまちづくり」高齢者介護をどのように進めていくのか」をテーマにご講演いただきました。当町でも、既に取り組みを行っているお話しもあり、参加された皆さんは改めて再確認をし、今後の活動に役立てる有意義な講座となりました。